

セクターサイズ確認変更資料

「通話録音サーバソフト VR-900VLA」（本書では以下「VR-900VLA」と記します）をインストールするパソコンの OS が Windows 11 の場合に、システムディスクのセクターサイズによっては VR-900VLA のインストールに失敗します。本資料ではシステムディスクのセクターサイズを確認および変更する手順について説明します。

【新規に VR-900VLA をインストールする場合】

(1) 「システムディスクのセクターサイズの確認および変更」(1 ページ) を実施します。

【VR-900VLA をインストールに失敗している場合】

(1) 「SQL Server および VR-900VLA のアンインストール」(3 ページ) を実施します。

(2) 「システムディスクのセクターサイズの確認および変更」(1 ページ) を実施します。

■ 事前準備

本手順を実施する前に以下を準備してください。

① セクター確認 (bat ファイル) ※

② VR-900VLA の取扱説明書

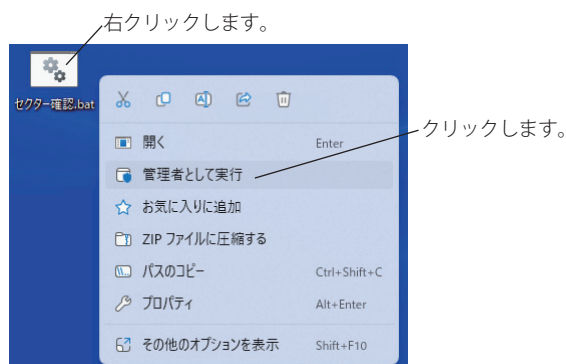
※ 当社ホームページ (<https://www.takacom.co.jp>) の「サポート情報」からダウンロードします。

システムディスクのセクターサイズの確認および変更

【手順1】セクター確認 (bat ファイル) の実行

① 当社ホームページからダウンロードした「セクター確認.bat」を右クリックして表示されるメニューから [管理者として実行] をクリックします。

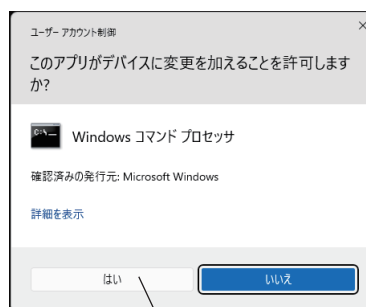
・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。



※ デスクトップ上に保存した場合の例

② [はい] をクリックします。

・システムディスクのセクターサイズが表示されます。



クリックします。

【手順2】システムディスクのセクターサイズの確認および変更

① 以下の2つの値を確認します。

- 1) PhysicalBytesPerSectorForAtomicity
- 2) PhysicalBytesPerSectorForPerformance

② キーボードから任意のキーを押します。

- ・“レジストリキーの追加を開始しますか？ (Y/N) ?” が表示されます。

【①の2つの値が「512」もしくは「4096」の場合】

③ キーボードから「n」もしくは「N」を入力します。

- ・“処理を中断します”が表示されます。

④ キーボードから任意のキーを押します。

- ・コマンド画面が消えます。
- ※ 確認作業は終了です（変更作業は必要ありません）。

【①の2つの値が「512」もしくは「4096」以外の場合】

③ キーボードから「y」もしくは「Y」を入力します。

- ・“Yesが選択されました。レジストリキーを追加します。”および“この操作を正しく終了しました。”が表示されます。

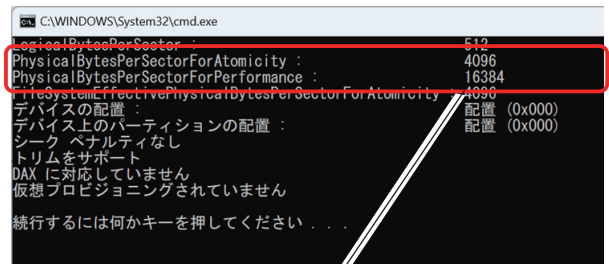
④ “レジストリキーが正常に追加されたか確認します。”が表示されていることを確認して、キーボードから任意のキーを押します。

- ・「～ REG_MULTI_SZ * 4095」と表示されることを確認します。
- ※ 変更作業は終了です。

⑤ [×] (閉じる) ボタンをクリックします。

- ・コマンド画面が消えます。

⑥ パソコンを再起動します。



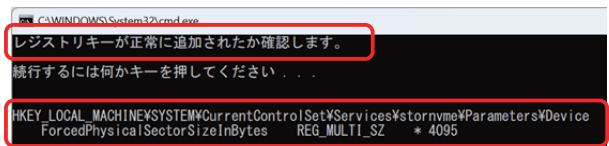
```
C:\WINDOWS\System32\cmd.exe
PhysicalBytesPerSectorForAtomicity : 512
PhysicalBytesPerSectorForPerformance : 4096
PhysicalBytesPerSectorForPerformance : 16384
PhysicalBytesPerSectorForPerformance : 4096
デバイスの配置 :
デバイス上のパーティションの配置 :
シーク ペナルティなし
トリムをサポート
DAX に対応していません
仮想プロビジョニングされていません
続行するには何かキーを押してください . . .
```

値を確認します。

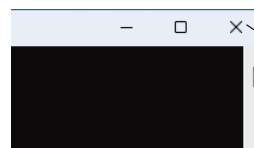


ワンポイント

- キーボードから「y」もしくは「Y」を入力して、エラーが表示された場合や、“この操作を正しく終了しました。”が表示されない場合は、作業を中断して再度【手順1】から実施してください。



```
C:\WINDOWS\System32\cmd.exe
レジストリキーが正常に追加されたか確認します。
続行するには何かキーを押してください . . .
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\stornvme\Parameters\Device
ForcedPhysicalSectorSizeInBytes REG_MULTI_SZ * 4095
```



クリックします。



ワンポイント

- セクターサイズを変更した場合は、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないとサイズの変更が有効になりません。

【手順3】VR-900VLA のインストール

① VR-900VLA の取扱説明書「通話録音サーバ VR-900VLA 編 インストール」(18 ページ) を参照して VR-900VLA および VR-900VLA web voice player をインストールします。

SQL Server および VR-900VLA のアンインストール

システムディスクのセクターサイズの変更が必要なパソコンにおいて、サイズ変更しないで VR-900VLA をインストールした場合は、インストールに失敗します。この場合は以下の手順で SQL Server および VR-900VLA をアンインストールします。

- ① デスクトップ画面におけるタスクバーから、[con] と入力して検索される「コントロールパネル」をクリックします。

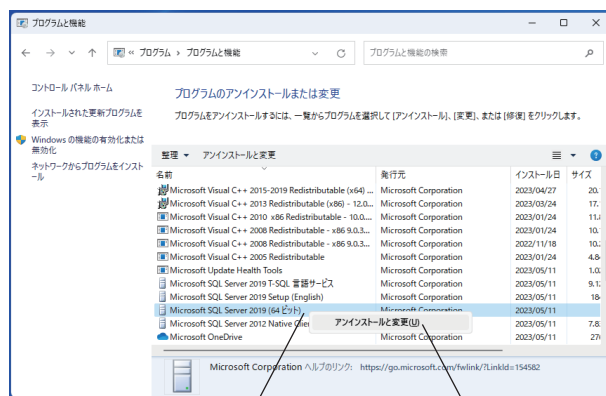
・【コントロールパネル】画面が表示されます。

- ② コントロールパネルから [プログラム] → [プログラムと機能] をクリックします。

・プログラムの一覧が表示されます。

- ③ 「Microsoft SQL Server 2019(64 ビット)」を選択して右クリックしたメニューから [アンインストールと変更] をクリックします。

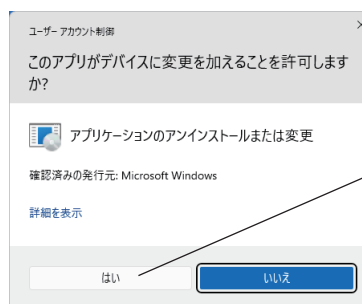
・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。



右クリックします。 クリックします。

- ④ [はい] をクリックします。

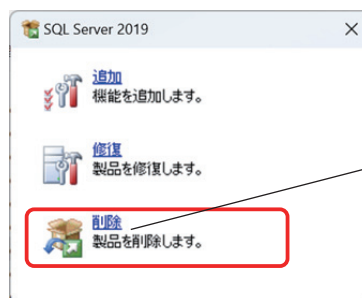
・【SQL Server 2019】画面が表示されます。



クリックします。

- ⑤ [削除] をクリックします。

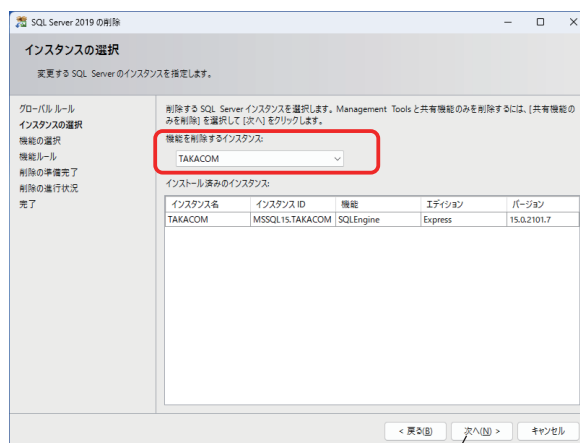
・【インスタンスの選択】画面が表示されます。



クリックします。

- ⑥ “機能を削除するインスタンス” が「TAKACOM」であることを確認して [次へ] をクリックします。

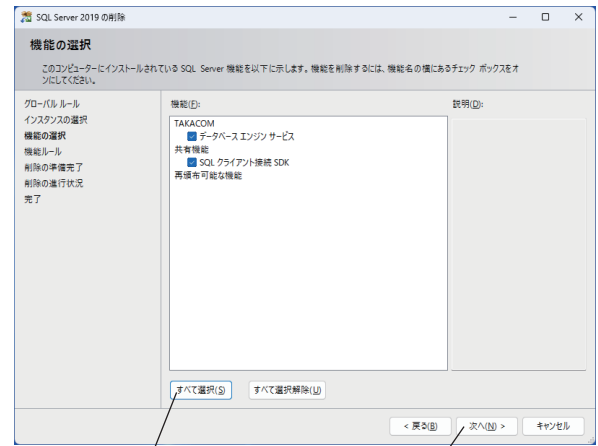
・【機能の選択】画面が表示されます。



クリックします。

⑦ [すべて選択] をクリックしたあとで、[次へ] をクリックします。

- ・【削除の準備完了】画面が表示されます。

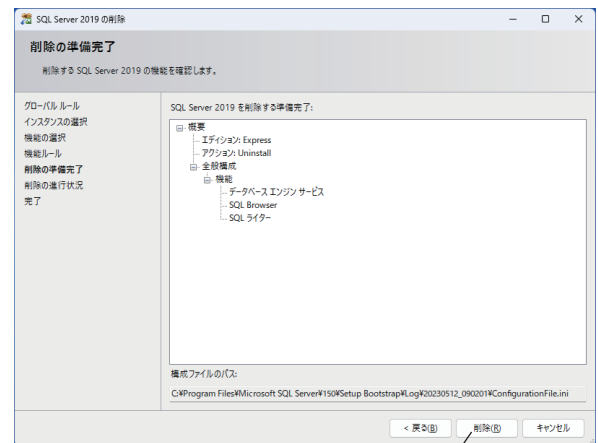


クリックします。

クリックします。

⑧ [削除] をクリックします。

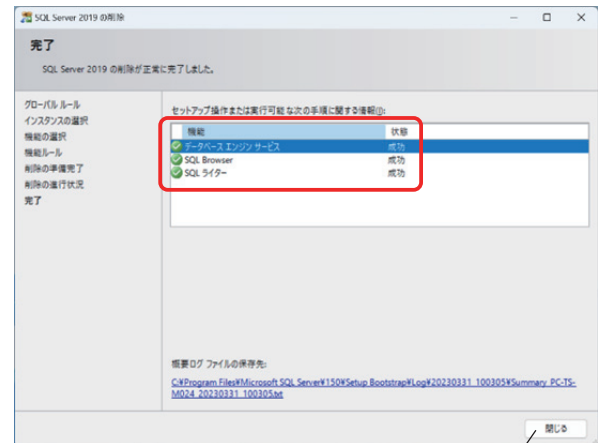
- ・SQL Server 2019 が削除されます。
- ・削除が完了されると、【完了】画面が表示されます。



クリックします。

⑨ 以下の状態が“成功”であることを確認して、[閉じる] をクリックします。

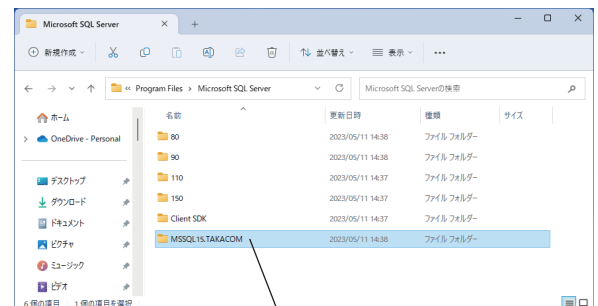
- ・データベースエンジンサービス
- ・SQL Browser
- ・SQL ライター



クリックします。

⑩ エクスプローラーなどにより、「C:\Program Files\Microsoft SQL Server」配下に「MSSQL15.TAKACOM」フォルダが存在する場合は、フォルダごと「MSSQL15.TAKACOM」を削除します。

⑪ VR-900VLA の取扱説明書「通話録音サーバ VR-900VLA 編 インストール アンインストール」(23 ページ) を参照して VR-900VLA をアンインストールします。



フォルダごと削除します。